

1 事業概要

		課名	リニア整備課	事業No.	46
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H27	終了	H39
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		12	リニア時代を支える都市基盤を整備する	
	分野別計画				
法令・例規等					
事業目的	対象	リニア駅周辺			
	意図	リニア開業に向け、駅周辺を整備する			

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	リニア駅周辺の整備工程として、平成30年度都市計画決定、平成31年度からの事業化を予定しています。 それに向けて、都市計画決定、事業化に必要とする駅周辺整備内の各施設の規模、配置等を検討するため、基本設計に着手しています。 JR東海から平成29年度以降の用地測量、物件調査に着手する工程が示されているため、JR東海の工程に合わせて用地測量及び物件調査についても着手しています。 また駅周辺整備の検討体制として、「リニア駅周辺整備デザイン会議」を設立し、検討を進めています。		リニア駅周辺整備関連業務等委託料				34,648	
			用地補償関連測量等委託料				53,957	
			検討会議等講師謝礼				1,546	
			検討会議等旅費				1,255	
			現地事務所設置運営負担金				2,040	
			その他の経費				2,234	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
	リニア駅周辺整備事業の基本設計	%		50				
29年度 決算 (千円)	予算額	210,441	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	95,680	29→30 繰越明許費 25,405千円					
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
その他		0						
	一般財源	95,680						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	17	10	5	210,441	95,680	リニア駅周辺整備事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識	トランジットハブの実現と長野県の南の玄関口、三遠南信の北の玄関口、世界へ発信する玄関口として、多様な交流の要衝地域とするため、リニア駅周辺整備デザイン会議等において検討し、また様々な関係機関と協力し、基盤となるリニア駅周辺整備を円滑に進めます。								
上記の課題解決のための有効策	駅周辺整備基本設計の検討体制としての「リニア駅周辺整備デザイン会議」「学識者専門委員会」により検討を進めます。魅力発信施設のあり方、規模、施設運営方針について、産業界、地元地域と協議を進めます。また、ワークショップ等を通して多様な方からの意見を取り入れます。								
次年度に向けての取り組み	都市計画決定及び事業化に必要とする駅周辺整備区域内の各施設について、規模・配置等の基本設計を進めます。事業用地取得のため用地測量、物件調査を進め、移転に向けた協議、説明を進めます。								